

健康づくりは幸せづくり

Making Health
is making happiness



第65期

中間株主通信

平成30年4月1日～平成30年9月30日

Contents

株主の皆様へ	P.1
営業の概況(連結)	P.3
通期の見通し/研究開発の状況	P.5
研究開発パイプライン	P.6
株主様ご優待のお知らせ	P.7
財務諸表(連結)	P.8
会社情報	P.9
株式情報	P.10
株主メモ	



ゼリア新薬

Z E R I A



代表取締役会長兼CEO

伊部 幸顕

代表取締役社長兼COO

伊部 充弘

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第65期中間(第2四半期連結累計期間)の事業概況に関しまして、ここにご報告させていただきます。

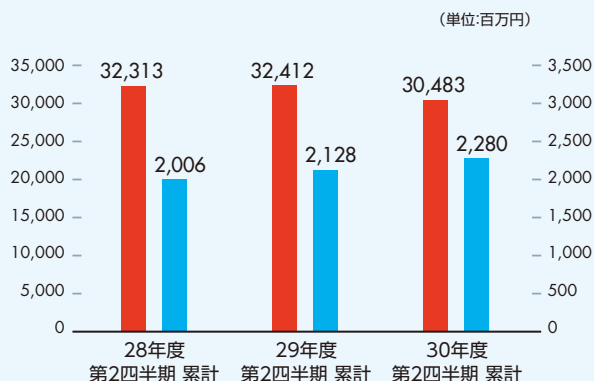
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、通商問題や中国を始めとする海外経済の不確実性、相次ぐ自然災害の影響など、依然として先行き不透明感が払拭できない状況が続いてはいるものの、企業収益や雇用環境は着実に改善しており、全体としては引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、本年4月に薬価制度の抜本改革による想定外の薬価引き下げを受けたことや、後発医薬品の使用促進など医療費抑制策が強力に推進されており、またOTC医薬品市場におきましても市場競争の激化が続いており、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

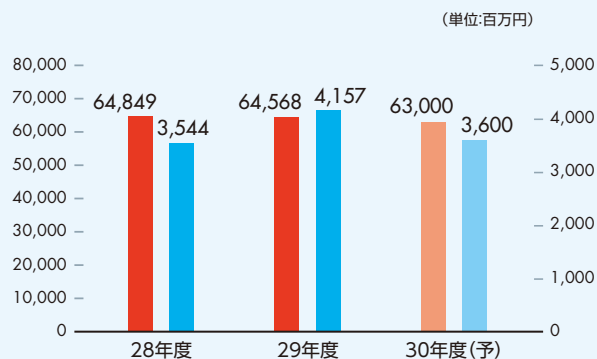
このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、304億83百万円(前年同四半期比6.0%減)となりました。また、利益につきましては、営業利益は20億69百万円(前年同四半期比13.5%減)、経常利益はスイスフラン高による為替差損の発生により19億14百万円(前年同四半期比24.5%減)となりました。一方、特別利益を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億80百万円(前年同四半期比7.2%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の海外売上高比率は、28.4%(前連結会計年度26.3%)となりました。

売上高(■:左目盛)
親会社株主に帰属する四半期純利益(■:右目盛)



通期売上高(■:左目盛)
親会社株主に帰属する当期純利益(■:右目盛)



医療用医薬品事業

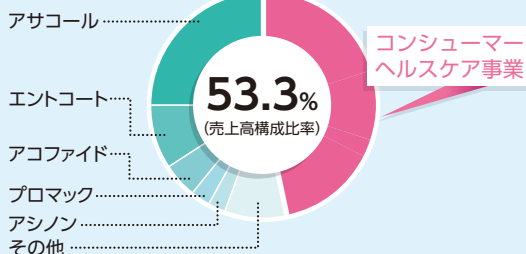
売上高

161億96百万円

前年同四半期比

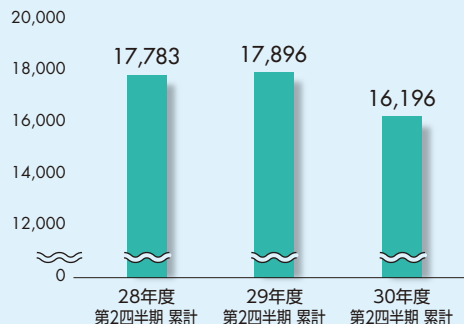
▶9.5%減

主要製品売上高



アサコール	75.3億円
エントコート	27.8億円
アコファイド	15.5億円
プロマック	8.5億円
アシノン	7.2億円

医療用医薬品事業連結売上高(単位:百万円)



主力製品の潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」は、主に国内において、本年4月の薬価改定や後発品、競合品の影響を受け、苦戦いたしました。一方、炎症性腸疾患治療剤「Entocort」(国内販売名:「ゼンタコート®」)につきましては、日本国内、カナダ、北欧を中心に売上を拡大いたしました。なお、機能的ディスペプシア治療剤「アコファイド®」につきましては、引き続き内視鏡実施医療機関を中心に潜在的な機能的ディスペプシア患者の掘り起しに努めております。

また、平成29年11月に「インフリキシマブBS点滴静注用100mg「日医工」」の共同プロモーションを開始し、消化器領域における製品ラインアップの充実を図っております。

これらの結果、当事業の売上高は、161億96百万円(前年同四半期比9.5%減)となりました。



コンシューマーヘルスケア事業

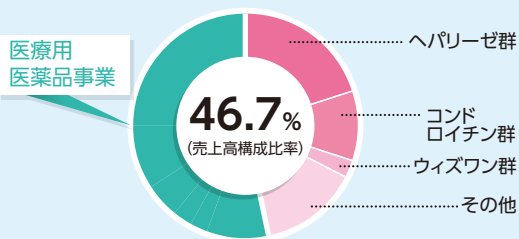
売上高

142億9百万円

前年同四半期比

▶ 1.6%減

主要製品売上高

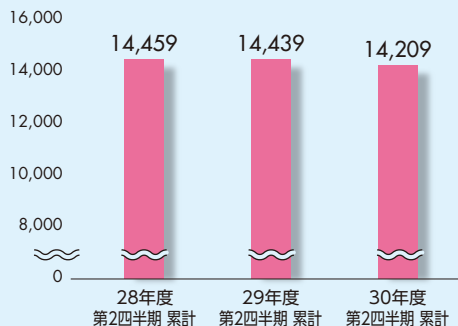


ヘパリーゼ群 60.9億円

コンドロイチン群 30.6億円

ウイズワン群 8.0億円

コンシューマーヘルスケア事業連結売上高 (単位:百万円)



主力製品群の「ヘパリーゼ®群」につきましては、天候不順等の影響を受けたものの、テレビCMなどの広告宣伝活動を積極的に展開し、製品認知度の向上に努めた結果、引き続き売上を拡大いたしました。なお、平成30年4月にシリーズ最上位品として「ヘパリーゼ®Wプレミアム極」を発売し、製品ラインアップを強化いたしました。また、「ウイズワン®群」につきましても、引き続き堅調に推移いたしました。一方、「コンドロイチン群」につきましては、市場競争の激化により苦戦いたしました。医薬品としての有効性、安全性、品質を訴求し、健康食品との違いを明確にした販売活動を行った結果、引き続き圧倒的な市場シェアを堅持しております。

これらの結果、当事業の売上高は、142億9百万円(前年同四半期比1.6%減)となりました。



通期の見通し／研究開発の状況

通期の見通し

第3四半期以降につきましては、Entocortやヘパリーゼ®群などの主力製品の売上高は引き続き堅調に推移する見込みではあるものの、主に国内の医療用医薬品事業において、後発品や競合品の影響が大きく、通期の連結売上高は当初予想を下回る見通しです。また、国内外で実施している治験の進捗により研究開発費が高水準で推移することなど一般管理販売費の増加を予想しており、さらには、スイスフラン高による為替の影響などが見通されることから、右表の通期連結業績を見込んでおります。

	第64期	第65期(予想)
売上高	645億68百万円 (前期比 0.4%減)	630億円 (前期比 2.4%減)
営業利益	48億30百万円 (前期比 6.4%増)	43億円 (前期比 11.0%減)
経常利益	50億89百万円 (前期比 14.7%増)	40億円 (前期比 21.4%減)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	41億57百万円 (前期比 17.3%増)	36億円 (前期比 13.4%減)

研究開発の状況

研究開発部門におきましては、消化器分野に限らず様々な分野の新薬パイプライン強化に取り組んでおります。

【承認申請中の品目】

潰瘍性大腸炎治療剤[Z-206]の中国での開発につきましては、平成25年5月に承認申請を実施済みで、審査が進められております。

スイスVifor (International) AGから導入いたしました鉄欠乏性貧血治療剤[Z-213]につきましては、平成30年3月に製造販売承認申請を実施済みで、審査が進められております。

また、Tillotts Pharma AGが平成29年1月に潰瘍性大腸炎を予定適応症として欧州で承認申請しました、改良型メサラジン製剤[TP05]につきましては、審査が進められております。

【臨床試験実施中の品目】

自社オリジナル品の[Z-338(アコファイド®)]につきましては、欧州において機能性ディスペプシアを対象とした

フェーズⅢを実施しております。

[Z-100]につきましては、子宮頸癌を対象として、日本を含むアジア地域におけるフェーズⅢ(国際共同治験)を実施しております。

[Z-360]につきましては、膀胱癌を対象として、日本を含むアジア地域におけるフェーズⅡ(国際共同治験)を実施しております。

【臨床試験準備中の品目】

Vifor (International) AGより導入しました高カリウム血症治療剤[ZG-801]については、臨床試験の準備を現在進めております。

2018年に当社とTillotts Pharmaは、両社の研究開発マネジメントを一体化した新しい組織を構築しました。今後はグローバルパイプラインの強化を図ってまいります。

研究開発パイプライン

● 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

(平成30年11月2日現在)

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
承認申請中	Z-213／カルボキシマルトース第二鉄	ゼリア	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品
フェーズⅢ (アジア共同治験)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅡ (アジア共同治験)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社品
臨床試験準備中	ZG-801／Patiromer	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合非吸収性ポリマー	導入品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
承認申請中 (中国)	Z-206／メサラジン	ゼリア・Tillotts Pharmaの共同開発	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
承認申請中 (欧州)	TP05／メサラジン	Tillotts Pharma	潰瘍性大腸炎	OPTICORE DDS技術	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338／アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ (アジア)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅡ (アジア)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品:自社グループオリジナル品

ご参考

フェーズⅠ (第Ⅰ相臨床試験)

動物実験を終えて効き目(有効性)と安全性が確認された「薬の候補」は、少人数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

フェーズⅡ (第Ⅱ相臨床試験)

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少人数の患者さんで「薬の候補」の効き目(有効性)、副作用(安全性)、投与量、投与方法などの適切な使用方法をプラセボ*と比較しながら調べます。

フェーズⅢ (第Ⅲ相臨床試験)

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目(有効性)、副作用(安全性)、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、プラセボと比較する試験を行います。多くの場合、二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

*プラセボ 有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

株主様ご優待のお知らせ



当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待を行っております。当社株式1,000株以上をご所有の株主様にはA～F、6つのコースからご希望のいずれかを、100株以上1,000株未満をご所有の株主様にはGコースをお届けいたします。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

A
コース

清涼飲料水・指定医薬部外品・特定保健用食品
「アルミ缶入りドリンク・ヘパリーゼ®Wセット」



B
コース

健康飲料
「コンドロビー®
濃縮液潤甦®
(じゅんこう)」
2本セット



C
コース

美容・健康商品
「コンドロマックス®・アポスティ®セット」



D
コース

コンドロイチン配合夜間集中美容液
「ZZ:CC®(ジージー・シーシー)
アドソープ
エッセンス(30g)」
2本セット



E
コース

上質なうるおいを実感する3品目
「IONAベーシックスキンケア3点セット」



F
コース

高純度コンドロイチン、天然イオン配合で年齢肌
にハリとうるおいを
「イオナR
スペシャルケア
2点セット」



G
コース

肝臓エキス・ウコンエキス配合ドリンク
「ヘパリーゼ®W」10本



● D～Fコースの製品はゼリアオンラインショップ (<https://www.zeriaonline.com/>) でお買い求めいただけます。

財務諸表(連結)

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

科目	期別	前期末	当第2四半期末
		平成30年3月31日現在	平成30年9月30日現在
[資産の部]			
流動資産		38,505	37,363
現金及び預金		10,166	8,750
受取手形及び売掛金		15,613	15,119
有価証券		7	-
商品及び製品		5,383	6,038
仕掛品		812	832
原材料及び貯蔵品		3,179	3,045
その他		3,365	3,588
貸倒引当金		△22	△10
固定資産		76,895	76,004
有形固定資産		23,340	23,231
建物(純額)		7,404	7,339
土地		11,701	11,698
その他(純額)		4,234	4,193
無形固定資産		32,337	30,426
投資その他の資産		21,216	22,345
投資有価証券		6,935	8,005
退職給付に係る資産		13,571	13,691
その他		750	664
貸倒引当金		△40	△15
資産合計		115,400	113,367
[負債の部]			
流動負債		36,159	36,337
買掛金		2,072	1,713
短期借入金		24,926	26,947
その他		9,160	7,676
固定負債		13,544	12,701
長期借入金		8,676	7,554
退職給付に係る負債		750	862
資産除去債務		54	54
その他		4,063	4,230
負債合計		49,704	49,039
[純資産の部]			
株主資本		54,773	55,580
資本金		6,593	6,593
資本剰余金		11,685	11,685
利益剰余金		42,096	43,520
自己株式		△5,600	△6,217
その他の包括利益累計額		10,758	8,588
非支配株主持分		163	158
純資産合計		65,696	64,328
負債純資産合計		115,400	113,367

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

科目	期別	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
		平成29年4月1日から平成29年9月30日まで	平成30年4月1日から平成30年9月30日まで
売上高		32,412	30,483
売上原価		9,462	8,827
売上総利益		22,940	21,650
販売費及び一般管理費		20,546	19,581
営業利益		2,393	2,069
営業外収益		253	198
営業外費用		112	352
経常利益		2,534	1,914
特別利益		605	1,581
特別損失		0	1
税金等調整前四半期純利益		3,139	3,495
法人税等		1,000	1,209
四半期純利益		2,139	2,286
親会社株主に帰属する四半期純利益		2,128	2,280

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

科目	期別	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間
		平成29年4月1日から平成29年9月30日まで	平成30年4月1日から平成30年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,416	1,860
投資活動によるキャッシュ・フロー		879	△1,761
財務活動によるキャッシュ・フロー		△3,001	△1,257
現金及び現金同等物に係る換算差額		229	△257
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		1,523	△1,416
現金及び現金同等物の期首残高		9,118	10,034
現金及び現金同等物の四半期末残高		10,642	8,618

会社概要

創 立	昭和30年12月
資 本 金	6,593,398,500円
社 員 数	1,729名(連結)
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売および輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売および輸出入

役員

代表取締役 会長兼CEO	伊 部 幸 顕
代表取締役 社長兼COO	伊 部 充 弘
取締役副社長	遠 藤 広 和
常務取締役	岸 本 誠
取 締 役	小 森 哲 夫
取 締 役	野 本 亀久雄
取 締 役	加 藤 博 樹
取 締 役	平 賀 義 裕
取 締 役	石 井 克 幸
取 締 役	河 越 利 明
取 締 役	吉 島 光 之
取 締 役	草 野 研 治
常勤監査役	降 旗 繁 弥
常勤監査役	高 見 幸二郎
監 査 役	中 由 規子
監 査 役	若 林 博 史

事業所

- | | |
|-----------|------------|
| ● 本社 | ● 福岡支店 |
| ● 札幌支店 | ● 中央研究所 |
| ● 仙台支店 | ● 埼玉工場 |
| ● 東京支店 | ● 筑波工場 |
| ● 北関東営業所 | ● 札幌物流センター |
| ● 南関東営業所 | ● 東京物流センター |
| ● 名古屋支店 | ● 埼玉物流センター |
| ● 大阪支店 | ● 大阪物流センター |
| ● 大阪第2営業所 | ● 九州物流センター |
| ● 中四国支店 | |

- 出張所 青森・千葉・水戸・宇都宮・新潟・松本・府中・高崎・静岡・堺・京都・金沢・山口・岡山・米子・高松・松山・高知・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄

連結子会社 13社

- Tillotts Pharma AG (スイス)
- ZPD A/S (デンマーク)
- ゼリアヘルスウエイ株式会社
- Tillotts Pharma AB (スウェーデン)
- Tillotts Pharma Ltd. (アイルランド)
- Tillotts Pharma UK Ltd. (英国)
- Tillotts Pharma Czech s.r.o. (チェコ)
- Tillotts Pharma Spain S.L.U. (スペイン)
- Tillotts Pharma GmbH (ドイツ)
- Tillotts Pharma France SAS (フランス)
- イオナ インターナショナル株式会社
- 株式会社ゼービス
- Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd (ベトナム)

株式の状況

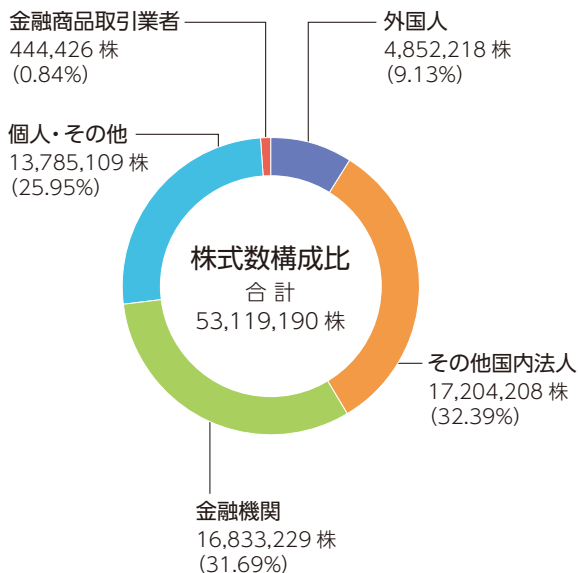
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	53,119,190株
③株主数	11,259名

大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社伊部	4,741,847	9.5
株式会社三菱UFJ銀行	2,107,050	4.2
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	2,102,700	4.2
森永乳業株式会社	2,040,215	4.1
伊部幸顕	1,592,967	3.2
株式会社三井住友銀行	1,406,131	2.8
株式会社みずほ銀行	1,406,053	2.8
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,199,700	2.4
株式会社りそな銀行	1,182,385	2.4
ゼリア新薬工業従業員持株会	1,022,138	2.0

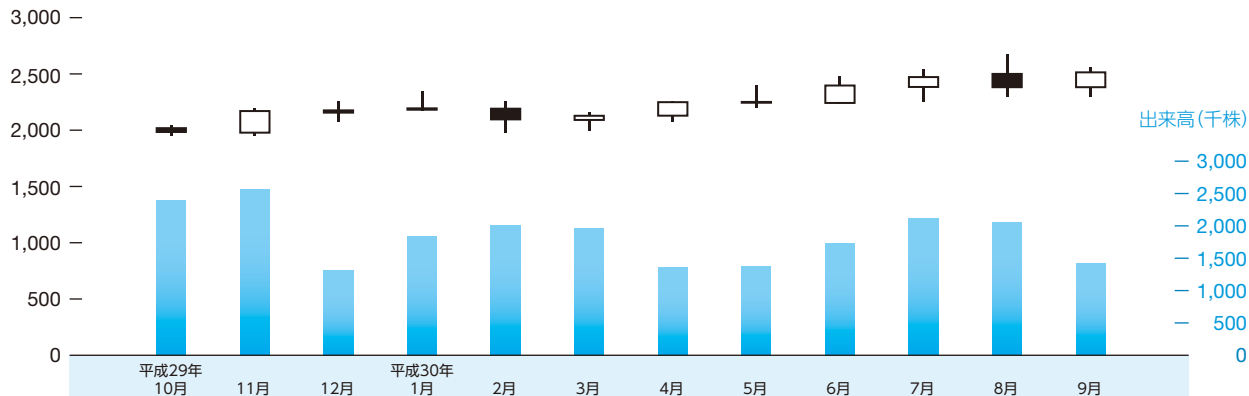
(注)出資比率については、自己株式(3,012,314株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移

株価(円)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 「配当金計算書」について
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様に付きましても、「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。



最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。

<http://www.zeria.co.jp/>



ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351(代表) FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
<http://www.zeria.co.jp/>

健康づくりは幸せづくり



ゼリア新薬
ZERIA